

# むさしの TALK

田口トモロヲさん  
(俳優・ナレーター)

## どの世代の誰にとっても 開かれた扉があるまち

演技派の俳優で、映画監督で、バンドマンでもある田口トモロヲさん。いろいろな顔を持つ田口さんだからこそ感じる、吉祥寺のすごさとは。



僕は吉祥寺生まれなんですけれど、すぐに引越したので、幼い頃の思い出というのは残念ながらありません。記憶にあるのは、中学時代から。三鷹市に住んでいたのですが、井の頭公園に遊びに来ていました。とはいえ、あまり明るい学生でもなく、一人で来て池の周りを歩いたりして過ごしていたかな。

井の頭公園は都会の中の避暑地のように、すごく癒やされます。さらに僕ら昭和世代にとっては代表的なデートスポット。監督した映画作品でも、デートシーンはもちろん、井の頭公園で撮りました。

こんなふうに若者がこぞって行く場所もあれば、おじさんが好む場所がたくさんあることにも驚かされます。例えば焼き鳥の「いせや」さん。もう30年くらい前の話になっちゃいますけれど、フォークシンガーの高田渡さんがほぼ毎日通っていると聞いて、行ったら本当にいらしていた。僕はバンドもやっているので、会えて感激したことを覚えています。

田口トモロヲ(たぐちともろを)  
1957年武蔵野市生まれ。俳優、ナレーター、映画監督として活躍する。最新出演作にTBS『この世界の片隅に』、NHK『植物男子ベランダ』、監督作に『ピース オブ ケイク』(2015年)など。11月20日から宮藤官九郎演出の舞台『ロミオとジュリエット』(下北沢・本多劇場ほか)に出演予定。

### ● PRESENT

今回取材した、田口トモロヲさんのサイン入り色紙を抽選で3名の方にプレゼント！詳しくは本誌折り込みハガキをご覧ください。



最近もバンドのリハーサルやなかで吉祥寺に来たりしています。それが終わったらみんなでハーモニカ横丁の店あたりで一杯やりたいんだけど、メンバーの多くが終電の早い井の頭線を使っているので、なかなか実現しなくて残念なんですよね。吉祥寺には、どの世代でも楽しめる場所がそろっている。そこがこのまちのすごさなんだと思います。大衆的な施設も、カルチャー好きが集うような小さなスペースもあって、選択肢がいろいろありますよね。どんな人にとっても開かれた扉がある。こういうまちってなかなかないですから、いつまでもいろいろな人にとってオープンな場所であってほしいと思います。

